



日中の眠気

大きないびき

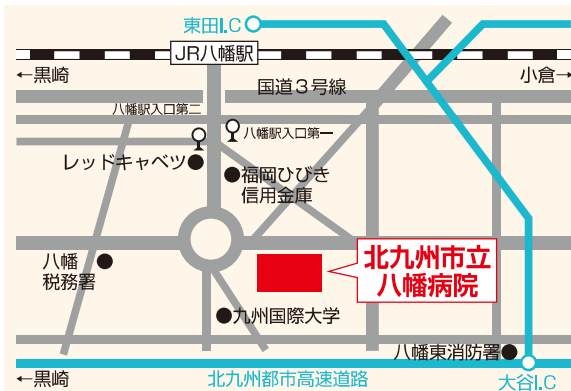


このような症状はありませんか



起床時の頭痛

熟睡感がない



アクセス

JR鹿児島本線 八幡駅から徒歩9分

西鉄バス 「市立八幡病院」病院敷地内
「八幡駅入口第一・第二」から徒歩6分

都市高速道路 大谷インターから車で5分
東田インターから車で5分

病床数	350床
駐車場	200台
外来診療日	月曜日～金曜日 (休診日：土曜、日曜、祝祭日、 12月29日～翌年1月3日)

外来診療時間 初診受付：午前8時～午前11時00分
再診受付：午前8時～午前11時00分
※ただし急患はこの限りではありません

診療科目 (22科) 内科、循環器内科、小児科、外科・
消化器外科・呼吸器外科・小児外科、
脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、
泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、
放射線科、救急科、麻酔科、精神科、歯科、
リハビリテーション科、臨床検査科

※正式標榜

地方独立行政法人 北九州市立病院機構

北九州市立八幡病院

Kitakyushu City Yahata Hospital

北九州市八幡東区尾倉二丁目6番2号

TEL 093-662-6565(代表) FAX 093-662-1796

<https://www.kitakyu-cho.jp/yahata/>

眠っている間に呼吸が止まる 睡眠時無呼吸症候群



北九州市立八幡病院

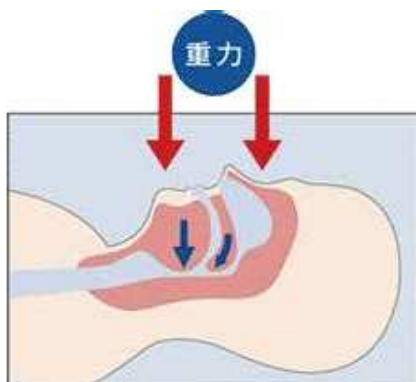
Kitakyushu City Yahata Hospital

睡眠時無呼吸症候群とは？

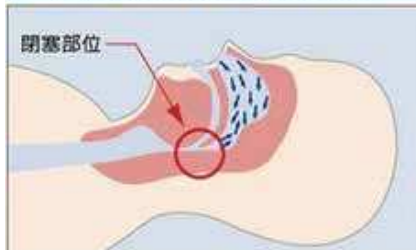
睡眠時無呼吸症候群(SAS:Sleep Apnea Syndrome)は、気道の閉塞などの原因により、睡眠中に呼吸が何回も止まる病気です。

主に、いびき、起床時の頭痛、日中の眠気や倦怠感などの症状があります。また、高血圧や脳卒中などの循環器疾患、糖尿病などの合併症を引き起こすことがあります。さらに、日中の眠気により、交通事故などを引き起こす可能性もあります。

そのため、患者さんに合わせた、適切な検査と治療が必要です。



睡眠時無呼吸（閉塞型）



睡眠ポリグラフィー検査とは？

睡眠時無呼吸症候群の原因や重症度を調べ、治療方法などを決定するためには、十分な検査が必要です。

睡眠ポリグラフィー検査は、睡眠の状態を全体的に調べる検査です。入院していただき、脳波、心電図、胸部の動きや血中酸素量などの検査端子を体に取り付け、一晩寝ていただきます。痛みは、全くありません。



当院では、外来で問診や簡単な検査を行い、睡眠時無呼吸症候群が疑われる方には、日程をご相談のうえ、入院して当検査を受けていただきます。

治療方法は？

適切な治療を行うと、日中の眠気や倦怠感などの症状がなくなるだけでなく、合併症の予防や改善が期待できます。

軽症の方であれば、減量や飲酒を控えるなど生活習慣を改善することで、症状が軽減したり、なくなることもあります。

中症～重症の方は、CPAP療法が第一選択です。

○CPAP(シーパップ)療法

鼻マスクから気道に空気を送り込み、気道の閉塞を防いで無呼吸をなくす治療法です。

CPAP治療を受けていただく場合は、睡眠ポリグラフィー検査後、さらに1～2日の入院が必要となります。また、当検査後いったん退院し、後日CPAP治療を受けることも可能です。

